みずほCustomer Desk Report 2016/06/03 号(As of 2016/06/02)

【昨日の市況概要】

					公示仲値	109.38
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	109.47	1.1189	122.45	0.9882	1.4420	0.7249
SYD-NY High	109.59	1.1221	122.51	0.9911	1.4473	0.7269
SYD-NY Low	108.53	1.1146	121.07	0.9860	1.4409	0.7202
NY 5:00 PM	108.88	1.1151	121.43	0.9905	1.4423	0.7229
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)			11.56/12.06	Δ 25RR	1.025	Yen Call Over

NY DOW	17,838.56	48.89	債券市場	日本2年債	-0.2340	0.6bp
NASDAQ	4,971.36	19.11		日本10年債	-0.1000	1.2bp
S&P	2,105.26	5.93		米国2年債	0.8869	▲1.2bp
日経平均	16,562.55	▲ 393.18		米国5年債	1.3523	▲2.8bp
TOPIX	1,331.81	▲ 30.26		米国10年債	1.7989	▲3.6bp
ｼｶｺﾞ日経先物	16,615	▲250.00		独10年債	0.1140	▲2.2bp
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	6,185.61	▲6.32		英10年債	1.3440	▲2.9bp
DAX	10,208.00	3.56		豪10年債	2.2670	▲2.5bp
ハンセン指数	20,859.22	98.24	為替市況	USD/CNH	6.5877	0.0008
上海総合	2,925.23	11.72		ドルインデックス	95.56	0.11
USDJPY 3M Vol	11.01	0.05%	商品市況	CRB指数	188.025	1.20
USDJPY 6M Vol	10.91	0.09%		NY金	1,212.600	▲2.10
EURJPY 3M Vol	11.35	0.23%		WTI	49.170	0.16
EURJPY 6M Vol	11.18	0.11%		Dubai Spot	45.48	1.10

東京

ｵｰﾌﾟﾝ前に発表された本邦対外証券投資(中長期債投資)は5,494億円の売り越しとなり、4月から続いてきた対外証券投資の流れが一服。ﾄﾞﾙ円は下落ﾄﾚﾝﾄﾞが継続する中で、東京時間109.47ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝする。前日の安倍首相による消費増税の2年半先送り表明を受け財政規律の緩みによる財政再建懸念が意識されたことや、佐藤日銀委員がﾏｲﾅｽ金利政策に対して否定的な見解を示したことから、6月の日銀追加緩和期待が後退との見方も強まりﾄﾞﾙ円および日経平均は連れ安、ﾄﾞﾙ円は一時108.83まで下落。午後には、ECB理事会･OPEC総会･ADP雇用統計等の注目ｲﾍﾞﾝﾄを控える中で動意に乏しい展開となり、109円を挟んだもみ合い推移の後に109.24ﾚﾍﾞﾙで海外市場へ渡った。(東京15:30)

ロンドン

ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は、109.24ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。ﾄﾞﾗｷﾞECB総裁会見、EIA在庫統計、OPEC総会等、重要ｲﾍﾞﾝﾄを午後に控え様子見ﾑｰﾄﾞ。ｵｰﾌﾟﾝﾚﾍﾞﾙでの小動きの後、109.01ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。ﾕｰﾛﾄﾞﾙは、1.1198ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。4月のﾕｰﾛ圏生産者物価指数が、前年比-4.4%と予想(-4.1%)を下回ったことで、1.1184まで軟調推移。ECB政策金利発表では、予想通り据え置かれ、特段のｻﾌﾟﾗｲｽﾞも無かったことから、反応は限られ、1.1187ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。(ﾛﾝﾄﾞﾝﾄｰﾙﾌﾘｰ 00531 444 179 山本)

ニューヨーク

NY時間のﾄﾞﾙ円は109.01ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。朝方は米5月ADP雇用統計が予想と一致し、ﾄﾞﾙ円の反応は限定的となった。続いて発表の米新規失業保険申請件数は予想をやや下回ったことから109.06まで戻す。同時に開始されたﾄﾞﾗｷﾞECB総裁の記者会見では特にｻﾌﾟﾗｲｽﾞな発言は見られず。一方ECBｽﾀｯﾌ予想では、2016年成長率が上方修正されるも2017･2018年分がそれぞれ据え置き･下方修正されたことから、市場ではﾊﾄ派との見方にﾕｰﾛ売りが強まりﾕｰﾛ円が下落。加えて、OPEC会合で「新たな原油生産目標で合意せず」とのﾍｯﾄﾞﾗｲﾝを受け原油および株式市場が軟化する展開にﾄﾞﾙ円も連れ安となり108.53まで下落する。その後は安値圏での推移が暫く続くが、午後に入ると軟調に推移していたﾀﾞｳが切り返す展開に円が売り戻されﾄﾞﾙ買い戻しも強まったことから108.91まで戻し、108.88ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。一方、ﾕｰﾛﾄﾞﾙはECB理事会結果発表を控え1.1200を挟んでの推移が続き1.1187ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方はECBｽﾀｯﾌ予想を受けﾕｰﾛ売りが強まり1.1165まで下落する。その後一旦1.1217まで戻す局面もあったが、Brexitﾘｽｸ等が言及されたこともあり、上値を切り下げ1.1146まで下落する。午後は1.1150付近での狭いﾚﾝｼﾞでの推移が続き、1.1151ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞした。(NY00531 113 682井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:加藤・橋

【昨日の指標等】

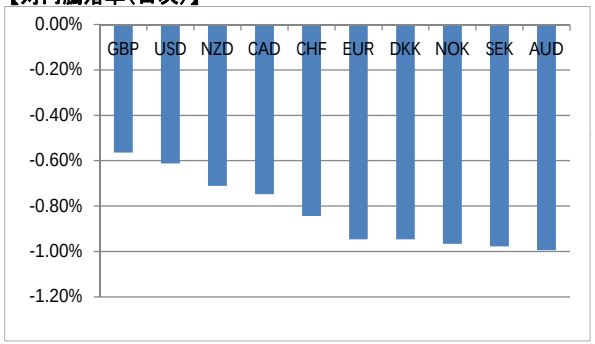
Date	Time		Event		結果	予想
6月2日	8:50	日	対外及び対内証券売買契約	5/27週分	-	-
	10:30	豪	貿易収支	4月	-A$1,579M	-A$2,100M
	10:30	豪	小売売上高(前月比)	4月	0.2%	0.3%
	20:45	欧	ECB政策金利/預金金利/貸出金利	6月	0.00%/-0.40%/0.25%	0.00%/-0.40%/0.25%
	21:15	米	ADP雇用統計	5月	173K	173K
	21:30	欧	ドラギECB総裁、会見	-	-	-
	21:30	米	新規失業保険申請件数	5/28週分	267K	270K
	21:35	米	パウエルFRB理事、討論会	-	-	-
	-	-	OPEC総会(ウィーン)	-	-	-
6月3日	2:00	米	カプラン・ダラス連銀総裁、講演	-	-	-

【本日の予定】

Date			Event		予想	前回
6月3日	10:45	中	財新・サービス業PMI/総合PMI	5月	-/-	51.8/50.8
	16:55	独	サービス業PMI/総合PMI・確報値	5月	55.2/54.7	55.2/54.7
	17:00	欧	サービス業PMI/総合PMI・確報値	5月	53.1/52.9	53.1/52.9
	18:00	欧	小売売上高(前月比/前年比)	4月	0.4%/2.1%	-0.5%/2.1%
	21:30	米	貿易収支	4月	-$41.0B	-$40.4B
	21:30	米	非農業部門雇用者数変化/失業率	5月	160K/4.9%	160K/5.0%
	21:30	米	平均時給(前月比/前年比)	5月	0.2%/2.5%	0.3%/2.5%
	22:45	米	サービス業PMI/総合PMI・確報値	5月	51.4/-	51.2/50.8
	23:00	米	ISM非製造業景況指数	5月	55.3	55.7
	23:00	米	製造業受注指数	4月	1.9%	1.5%
6月4日	1:30	米	ブレイナードFRB理事、講演	-	-	-

【ドル円相場】

【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.50ー109.60	1.1110-1.1200	121.00-122.00

【マーケット・インプレッション】

安倍首相の記者会見で具体的な財政出動の額等が示されなかったことで円買いが再燃。対ユーロでは年初来高値を更新している。ただし、今晩は米雇用統計の発表を控え、更に月曜日にイエレンFRB議長講演を控えており、イベントリスクに備えて投機筋はポジションを拡大するというよりも縮小してくる可能性が高い。6月23日に行われる英国でのEU離脱を問う国民投票を前にイエレンFRB議長がタカ派姿勢を堅持できるか注目に値する。